

第1学年 道徳科学習指導案

〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
授業者 教諭 〇〇 〇〇

- 1 主題名 あたりまえがすてき
- 2 ねらい 「具合が悪くなった後、元気になると普段の暮らしのいろいろなことが素敵に思えたのはなぜを考える学習を通して、生きていることに喜びを感じ、自分の生命と健康を大切にしようとする心情を育てる。

教材名 「ノンノン だいじょうぶ」 (出典: 「みんなのどうとく 1」学研教育みらい)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校1学年及び2学年の指導の観点は、「生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること」である。

低学年は、生命の尊さを知的に理解するというより、日々の生活の経験の中で生きていることのすばらしさを感じ取ることが中心となる。

児童は、自分の命が大切なものであり、大事に守らなくてはいけないことを知ってはいるが、生きていることが当たり前のことのように感じている傾向がある。そのため、毎日を元気に過ごせることや友達と仲良く遊べることなど、いつものことがいつもと同じようにできることが実は素敵なことであり、「生きている証」であることに気付かせていく必要がある。

指導に当たっては、生命の尊さを自分との関わりの中で理解させていきたい。また、自分のことを心配してくれる人がいることなどから、家族など、自分の命を支え、守ってくれる人がいることにも気付かせたい。自分の命がかけがえのないことを自覚させ、大切にしていこうとする実践意欲を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、心臓のペースメーカー埋没手術を受けている児童がいることから、入学式の翌日に自他の命を守ることについての話をしている。交通安全教室が行われた際には、命は一つしかないもの、大切に守らなければいけないものだという点を改めて確認した。また、1学期の生命の尊さについて学んだ道徳科の授業では、自分の成長を願う家族の愛情に気づき、自分の成長に自分なり願いをもったり、家族の健康などを願ったりする態度が見られた。

本学級の児童は、毎日明るく元気に登校し、休み時間には全員外に出て遊んでおり、小学校に入学した喜びを感じ、何でも知りたい、やってみたいという気持ちをもっている児童が多い。そこで日々の生活をいつもと同じようにできることが、「実は素敵なこと」だということに気付かせ、生きていることのすばらしさを感じ、これまで以上に生命を大切にしていきたいという思いを持たせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、高い熱が出て苦しんでいる主人公の心情を共感的に理解し、翌日元気になった時、いつもと同じ「いろいろなこと」がとても素敵に思えたことから、生きていることのすばらしさについて学ぶことを通して、ねらいに迫るものである。

そこで、自らの経験を振り返り、元気だからこそ「いつものこと」ができることや心配してくれる家族などがいることに気付かせ、自分が「生きていること」について考えさせることで、自己の生き方を見つめ、生きていることのすばらしさについて考えていく。

① ノンノンは、具合が悪くて寝ている時、どんなことを考えていたか。

ここでは、自分の経験を思い出させ、その時の自分の気持ちや頑張り、周りの人の支えがあったことなどに気付かせる。

② ノンノンは、どんなことを「素敵に思えた」のか。

ここでは、ノンノンが素敵に思えたことを自らの経験を想起して出させ、「素敵なこと」は「いつものこと」であることを考えさせる。

③ いつもと同じ朝なのに、「いろいろなことが素敵に思えた」のは、なぜか。

ここでは、個々によって理由は異なることが予想されるので、無理に焦点化せず、「いつものことが素敵」という考えが出たら、全体に広めながら、その意味を吟味していくようにする。

④ 「普段は気付かないけれど、実は素敵なこと」とは、どんなことか。

ここでは、日々の生活を振り返り、元気だからこそできることや家族のことなどを考えさせ、

「いつものこと」が「生きている証」であることを考えさせる。
以上の理由から、本主題を設定した。

4 学校研究課題との関わり

研究主題

豊かな心を持ち、よりよい生き方を求める児童の育成
～「考え、議論する道徳」の授業を通して～

○目指す児童像について

- ①人間としてよりよく生きる上で大切な道徳的価値を、自分のこととして考えることのできる子
- ②他者との交流を通して、物事を多面的・多角的に捉えることのできる子
- ③自分の特徴を知り、伸ばしたい自己を見つけ、それを実現させていこうとする思いのある子

【目指す子どもの姿】

〈低学年〉	〈中学年〉	〈高学年〉
①道徳的価値は、大切なものであると理解できる。 ②自分の考えをもちつつ、友だちの話を聞くことができる。 ③自分ができていることや、できていないことを振り返ることができる。	①道徳的価値に対する考え方は、様々であることを理解できる。 ②友だちの考えと自分の考えを比べて聞くことができる。 ③自分の体験や経験を振り返り、よりよい自分になるという思いをもつことができる。	①道徳的価値は、大切なものであるが、実現することは難しい時もあることを理解できる。 ②多くの考えを聞き、その考えに対する自分の納得できる答えを見つけることができる。 ③自己の生き方についての考えを深め、道徳的価値を実現させようとするすることができる。

○仮説とそれに対する手立て

仮説1 児童の「主体的な学び」を促す授業を行えば、道徳的価値を自分のこととして考えられるであろう。

<手立て>

(1) 道徳的価値を自分のこととして捉えさせる授業展開の工夫

- ①主人公の気持ちを自分のこととして考えられるように、自分の経験を振り返る活動を行う。
- ②ワークシートを活用し、「いつもと同じが素敵に思えること」を自分の言葉で表現できるようにしたり、そう思う理由を聞いたりするようにしていく。

(2) 主体的に考えさせるための課題提示の工夫

- ・課題を明確に示し、児童が本時の価値を自分のこととして考えられるようにする。

仮説2 他者との交流方法を工夫すれば、議論が深まり物事を多面的・多角的に捉えることができるであろう。

<手立て>

議論を深め、物事を多面的・多角的に捉えるための交流方法の工夫

- ・多面的・多角的に考えさせるために、具合が悪い時の気持ちと元気な時の気持ちを対比して考えさせ、教師がファシリテーターとなって議論を深める。

仮説3 指導と評価の一体化を図り、計画的に評価を積み重ねていけば、児童は自己理解を深め、道徳的価値を実践しようとする意欲が高まるであろう。

<手立て>

(1) 児童が自己の良さや課題を発見し、実践する意欲を引き出すワークシートの工夫

- ・本時の価値について振り返りができるワークシートを作成する。

(2) 指導と評価の一体化を図るための課題提示の工夫

- ・指導感に基づき課題を定め、児童の変容から授業のあり方を振り返る。

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入	<p>1 学習する前の自分の考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で、「今日は素敵ことがあったな」と感じるのは、どんなことがあった時ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日 ・お出かけ ・発表会 ・何か特別なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて聞かれると答えにくいことなので、あまり深追いせず、本時の学習で考えることを自分のこととして捉えられるようにするためのきっかけにする。 <p><仮説1 手立て(1)①></p>
	<p>ふだんは気づかない すてきなことって なにかな。</p>		
展開	<p>2 教材の読み聞かせを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンノンになって、その時の様子や気持ちを考えながら聞いてください。 		
	<p>3 内容について話し合う。</p> <p>(1) 具合が悪くて寝ている時、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>(2) ノンノンは、どんなことを「素敵に思えた」のでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しいな。 ・何も食べたくない。 ・早く学校に行きたい。 ・友達と遊びたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・元気に過ごせること。 ・たくさん食べられること。 ・学校に来られること。 ・友達と遊べること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの経験を思い出させ、その時の自分の気持ちや頑張り、周りの人の支えがあったことなどを考えさせる。 ・ノンノンが素敵に思えたことを自らの経験を想起して出させ、「素敵なこと」は「いつものこと」であることに気付かせる。 ・具合の悪い時と元気な時を対比して考えられるように声かけをして促す。
	<p>(3) いつもと同じ朝なのに、「いろいろなことが素敵に思えた」のは、なぜでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気がなったから。 ・健康の大切さに気付いたから ・当たり前だと思ってたけど、素敵だと気付いたから。 ・いつものことが、いつも通りにできるのは、元気だからこそ。 ・家族に心配してもらって、嬉しかったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々によって理由は異なることが予想されるので、無理に焦点化せず、「いつものことが素敵」という考えが出たら、全体に広めながら、その意味を吟味していくようにする。 <p><仮説2 手立て></p>
<p>4 教材をもとに本時の課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「普段は気付かないけれど、実は素敵なこと」とは、どんなことでしょうか。 <p>5 今日の学習で感じたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返りましょう。 ・今日の学習で大切だと思った 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝起きられること。 ・家族と過ごせること。 ・楽しく笑えること。 ・いつものこと。 ・健康に過ごすこと ・元気に学校に通うこと ・友達と仲良くすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活を振り返り、元気だからこそできることや家族のことなどを考えさせ、「いつものこと」が「生きている証」であることを考えさせる。 ☆「普段は気付かないけれど、実は素敵なこと」を見つけたり、そう思える「理由」を考えたりすることができたか。 ・「普段は気付かないけれど素敵なこと」や「これからも大切にしたいこと」は、一人一人様々なので、そう思う理由も引き出しなが 	

	ことはなんでしょう。		ら、考えを深めていけるようにする。 <仮説1 手立て(1)②> ・振り返りは、自分を主語にして書くように助言する。 <仮説3 手立て(1)> ☆友達の考えを聞き、話し合う中で、普段は気付かない素敵なことについて多面的・多角的に考えている。
終末	6 教師の説話を聞く。		・温かい雰囲気です、これからも前向きに取り組んでいこうとする気持ちをもって終えられるようにする。

6 他の教育活動との関連

帰りの会に今日の振り返りをする時間をとり、元気に過ごせたことや頑張ったことなどを発表して、共に喜び、分かち合うようにしていく。

7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公に自分を投影しながら考え、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・日常の当たり前なことが、実は素敵なことだと気づき、生命の尊さを自分との関わりの中で考えている。

8 板書計画

